

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

| | | |
|---------|--|----------------|
| | 校名 | 大阪府立とりかい高等支援学校 |
| | 校長名 | 福井 浩平 |
| 開催日時 | 令和6年11月22日（金）14：30～16：30 | |
| 開催場所 | 大阪府立とりかい高等支援学校 校長室（14:30～15:00 授業ビデオ視聴） | |
| 出席者（委員） | A 委員、B 委員、C 委員（欠席）、D 委員、E 委員、F 委員 | |
| 出席者（学校） | 校長、教頭、事務長、首席 A、首席 B、指導教諭、 教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、地域支援部長 | |
| 傍聴者 | 2名 | |
| 協議資料 | ①次第 ②学校運営協議会 委員名簿 ③学校運営協議会 事務局名簿 ④7月授業参観週間保護者アンケート ⑤10/26(土)体育祭保護者・卒業生アンケート ⑥喫茶販売の授業のデジタル化について ⑦学校案内パンフレット（8月改訂発行） ⑧令和6年度3年生（10期生）進路状況 ⑨令和6年度 学校経営計画及び学校評価【進捗状況】 | |

| 議題等（次第順） |
|--|
| (1) 授業見学（動画視聴）について (2) 7月授業参観週間保護者アンケートについて (3) 10/26(土)体育祭保護者・卒業生アンケートについて (4) 喫茶販売の授業のデジタル化について（オーダー体験あり） (5) 学校案内パンフレット（8月改訂発行）について (6) 令和6年度3年生（10期生）進路状況について (7) 令和6年度学校経営計画の進捗状況について (8) 学校教育自己診断（生徒・保護者・教員）の実施について (9) その他、質疑応答 |

（１）授業見学（動画視聴）について

（協議会に先立ち、3年生外国語の授業を撮影したビデオ動画を視聴した。オールイングリッシュで英会話中心の授業内容であった。以下は、それを受けての意見交換。また、今回の協議会は一人一言ずつ発言くださいと会長が委員に提案された。）

【B委員】

自分の中学・高校での外国語の授業とは違う。すごくフランクな雰囲気になっていて感銘を受けた。教員と生徒、また生徒同士も距離が近くなる授業だった。

【D委員】

我々の時代とは全く違う。グローバル社会に対応した授業だった。英語に慣れ親しんでいこうという感じで、自然な会話、英語でコミュニケーションしていこうという雰囲気だった。すごく驚くばかり。生徒は授業も会話も楽しくなるだろう。1人1人個性ある教員がいると独自の学校ができていくので、どんどんいろんなことを取り入れていってほしい。

【E委員】

生徒は楽しみながら学んでいると思う。去年見た授業では、違う語学だったが日常生活で扱う言葉を学習していた。

【F委員】

自分の子どもは、英語が嫌いで、あまり話さないということがあったが、とりかいら来て、とにかく声を出せるようになり、よく話すようになった。

【A委員】

普段の授業で英語を使っていて、ネイティブの先生が授業に来た時に、生徒は自信を持って英語を話せると思う。生徒自身も自信がついていくとうれしいだろう。

（２）7月授業参観週間保護者アンケートについて

【教務主任より説明】

Google フォームで6件、紙で4件、合計10件の回答があった。フォームを活用し、去年よりも回答件数が増えた。第1回の協議会で頂いた「記載内容が混ざらないように質問項目を分ける」というご意見は、今回は反映できていないが、今後検討してアンケートを実施する。今回のアンケートに、受付についての意見の記載があるが、場所の調整が必要であり、今後検討する。

【F委員】

自分の子どもも、挨拶ができるようになった。自信がついて、声が出るようになった。とりかいら来て、以前に比べて活発になった。（アンケートの記述内容を見て）他の子ども同じようであらう。

【E委員】

とりかいらの生徒は自分から挨拶してくれる。アンケートに記載があるように雰囲気がいい。生徒は楽しみながら学ぶことができていると思う。

【B委員】

去年もフォームを使ったのか？

【指導教諭】

はい。去年は使い慣れていない部分があったと思うが、今年の1年生の保護者はインターネットやスマートフォンを活用した連絡手段を入学時からお願いしており、その結果もあると思う。

【B委員】

時代の流れもあるし、今後もインターネットの活用を続けてほしい。先生もアンケート内容をPCに打ち

込む手間も省けるし、有用だ。

ハラスメントについての記述があったがこれは何かあったのか？

【指導教諭】

授業中に将来接するであろうことを扱っているの、何がハラスメントの行為に当たるのかなどハラスメントについて学んだ授業についての記述である。決して生徒にハラスメントがあったわけではない。

【A委員】

「先生があたたかく見守っていた」、「こつこつ丁寧に作業している」、「手順の確認ができていた」など褒めていただいているが、どこを見てあたたかく見守っていたのか、どういう確認ができていたのかなど、良かったことは具体化して教員間で共有して広げていくことが大切。具体的にすると、次回以降、より良い評価が得られていく。

(3) 10/26(土)体育祭保護者・卒業生アンケートについて

【生徒指導主事より説明】

アンケート記載内容は概ね良かった。来校者が開門まで正門前で待っていたことについては、解消できるように検討する。競技内容が見ていて分かりにくかったことについては、放送で伝えているが、より分かりやすくしてもらえるように検討する。QRコード（Google フォーム）が有効だったことと、生徒が家にQRコードの載ったアンケートを持ち帰ったことで回答件数が多かったと考える。

【B委員】

頂いた意見には耳を傾けて、生徒も教員も安全に行事をしてほしい。

【D委員】

各行事で保護者や卒業生アンケートをしているのか？また、各行事に実行委員会があるのか？

【生徒指導主事】

各行事でアンケートを実施し、各行事に主担当の教員と担当者の教員複数で会議をもち、運営している。

【D委員】

毎年、各行事で反省・意見交換をし、反映させていて素晴らしいと思う。みんなの力で何事も進めていくことは大切。自治会でも盆踊りなどの行事があるが同じ。執行部の中で良かったこと、次はこうしようなど、原因は何かを把握して反省して次年度に反映させている。良い取り組みなのでさらに飛躍してほしい。

【E委員】

授業参観とまた違って、より多くの方からのアンケートで好評価だ。私は生徒の普段の準備の様子から見ているので、アンケートを見て、本番も頑張ったんだなと思った。

【F委員】

子どもにとって学生最後の体育祭となった。いつも勝てなくて半泣きで家に帰ってきていたが、今年は応援団で賞をもらって、団長の生徒が泣き、本人も泣き、私も泣いた。卒業生も多く見に来ていて、本人にも来年、見に行くように言っている。

【A委員】

生徒にアンケート結果を知らせているか？（いいえ。）生徒の励みになるので、良い評価だったよと伝えてあげてほしい。アンケートは、家に持ち帰って、子どもと保護者とで行事がどうだったかの話をするこにもなるので、とても良い。続けてほしい。

(4) 喫茶販売の授業のデジタル化について（オーダー体験あり）

【首席Bより説明】

ここ数年かけて予算を組み、必要な物を揃え、モバイルオーダーができるまでになった。併設校の摂津支

援学校の先生方や事務室の方にも喫茶利用をいただいている。PTA からの意見にも挙がっていた「時代の流れに合わせた学習機器を導入してほしい」という要望の実現にもつながった。

(実際に委員のスマホからオーダー体験をいただいた。)

スマホ等から QR コードを読み取り、Google フォームを通してオーダーが入ると、スプレッドシートに注文内容が表示される。また、喫茶販売室のタブレット PC から通知の音が鳴る設定をし、生徒もオーダーが入ったことに気づきやすくなるようにしている。(校長室内のモニターにスプレッドシートを映して見ていただきながら) このようにオーダーが入る。注文の品の準備ができれば、生徒がチェックをマークする。

また、レジの横に iPad のエアレジと連動させたキャッシュドロアがある。メニューボタンを押すと会計ができ、お釣りの計算もできる。時代の流れに即したものとなっている。新旧のレシートを比較して見てください。

【校長】

レシートが最近の喫茶店のような仕上がりに変更されている。

【F 委員】

このような時代に合った機器の取入れが良い。これまでの PTA の意見が反映されたことも嬉しい。

【E 委員】

すごい。お釣りも自動で出てくるのか？

【校長】

それには対応していないキャッシュドロアである。

【D 委員】

驚きである。時代に合ったデジタル社会を歩む姿勢が素晴らしい。

【B 委員】

先生方のご尽力の賜物である。注文の送信後は、(Google フォームの画面の表示が)「いらっしゃいませ」が「ありがとうございました」になっているとより良い。次のステップとしては、現金よりもカードや電子マネーに対応することが考えられるか。

【A 委員】

• これまでの予算申請など大変でしたね。新しい仕組みに対応できる生徒がすごい。

(5) 学校案内パンフレット (8月改訂発行) について

【地域支援部長】

新しいパンフレットを作製した。旧パンフレットの表紙には校舎の写真が載っていたが、本校の売りである授業の写真を載せた。記載内容は大きくは変更していないが、行事の時期を現状に合わせて変更し、生徒の声を新しく載せた。全体的なデザインは明るくなったと思う。旧パンフレットは北摂地域を中心に中学校に送付した。今後、小学校にも送って学校のことを周知していく。

【B 委員】

企業パンフレットでも建物の写真を入れがちなので、表紙に授業の写真は素晴らしい。このパンフレットのメインターゲットは、学校に関心のある保護者でよいか？

【地域支援部長】

はい。今年のオープンスクールから、関心のある保護者に配付を始めた。

【D 委員】

一目でパッと見て何を学んでいるかが分かるし、内容も分かりやすく素晴らしい。部活の写真や交通手段も載っている。

【E委員】

皆さんと同じ意見で、表紙で何をしている学校か分かる。「働きたい夢をかなえよう」という言葉も良い。紙面のスペースもあるだろうが、職場実習についてもう1枚でも写真が入れば良いなと思った。

【F委員】

中学校にパンフレットを送付していると聞いて良かった。支援学級の先生は高等支援学校についてなかなかご存知なく、私も子どもの進路先を探していた時に摂津支援学校に見学に行き、併設されているとりかい高等支援学校のことを初めて知り、高等支援学校について調べ始めた。中1の時から進路をどうするかと話にはなるが、中学校の先生は地域の支援学校は知っているが、「高等支援学校って何？」となっている。自分の知り合いには「とりかい良いよ」と薦めている。

【B委員】

就職先や就職率を載せたらダメか？もし規制がなければ、就職をめざしている学校なので宣伝になるのでは。企業側からの発信があると説得力が増すと思うので、可能な範囲でしてほしい。

(6) 令和6年度3年生(10期生)進路状況について

【進路指導主事より説明】

今のところ、就労希望が27名、訓練が2名である。このままいけば昨年度と同じく9割程度の就職率となるだろう。法定雇用率のこともあり、企業も雇用に積極的である。

今年度の特徴は、特例子会社へ就職する生徒が多いこと。関東の会社が大阪に進出してこられて、兵庫や京都などへも広がりが見られる。また、スーパーを希望する生徒はおらず、代わりに飲食関係の希望が多く、1年時から希望が多かった職種である。

雇用率を一定満たしたので一旦ここで雇用をストップさせるという会社もある。今後も地域と連携しながら事業所、就労先、生活の場を探していく。

【B委員】

新規の会社はあるか？

【進路指導主事】

今年度は少し減っている。とりかいの生徒が2人め3人めと就職でお世話になっている会社もある。

【F委員】

特例子会社は増えている？

【進路指導主事】

関東から大阪に進出されてこられ、増えてきている。

【E委員】

普段から先生方が頑張っておられて素晴らしい。

【D委員】

就職率が高くて素晴らしい。先生方のご努力と思う。この近隣の地域の会社は？

【進路指導主事】

近隣の会社とのつながりもある。また、摂津市商工会とも連携して、1年生向けの出前授業が予定されている。

【D委員】

近隣に倉庫などもあるし、雇用の場となり、地域活性化につながれば。

現実的なところで言えば、生徒にとって人間関係も課題なんだろうな。続かずに離職してしまうこともありえるだろう。社会時に出たら差別などもあるだろう。先生は生徒のメンタルをフォローし、社会に出たらいろいろあるよと教えてあげてほしい。

【A委員】

大学にも企業からの訪問がよくある。障がい者雇用は一般雇用とは違う流れがあり、大変だろうが頑張っ
てほしい。

(7) 令和6年度学校経営計画の進捗状況について

【校長より説明】

評価で○のついている項目は、概ね予定通りに進んでいる。今回は、評価で△のついている項目を中心に
説明する。

1. 特色ある教育活動の充実

- (2) オ：遅刻について、今のペースでいったとすると、目標の200人以下にならない。卒業後、いろ
いろな生活の場となるだろう。規則正しい生活ができるように生徒指導していく。
- (3) イ：企業からの見学について、最近でも3件の学校見学があった。広報活動の充実を着々と進めて
いく。
- (3) エ：2年生の職場実習の回数について、生徒個々の状況による。実習で得た反省を生かさな
いまま次に行くのではなく、回数を挙げてはいるが、回数多く行ったらいいとも限らないので中身を充実さ
せたい。今も2年生が5人実習に行っている。他校では年2回と決まっていたりするが、本校は随時
行っている。
- (5) イ：クラブ活動について、80.6%と高い加入率となっている。クラブの大切さを感じ、自分もや
ってみようかなという生徒が多いのかなと思う。教員も加入を勧めていて、今も数人、加入が増えて
いる。

2. 高等支援学校教員としての資質の向上と学校組織力の向上

- (1) ウ：高等支援学校のミッションの理解について、新転任者が学校説明会で参加者に説明をする場を
設けている。新転任の先生方に学校のことについて学んでもらう良い取り組みだと思う。
- (2) イ：特別支援学校教員免許の取得率について、異動者などその年の教職員配置によるが、去年は
60%だったのが今年は74.3%の取得率となっている。
- (2) ウ：教職員研修について、専門性のある支援について理解が深まるように実施している。実施回数
もだが、1回1回の中身を大切にしている。ビジネスマナー研修については、社会に出た時のマナー
に加えて、実習先開拓に出た時に失礼のないよう、また本校の良いところをお伝えできるよう、学ん
でいる。

3. 関係機関との連携や交流と理解啓発の推進

- (2) エ：中学生への学校公開について、実施回数もだが、どれだけ知ってもらえたかを大切にしたい。
先日の学校祭には、中学生とその保護者に約40人来ていただいた。

4. 校務の効率化による働き方改革

- (1) イ：文書の電子化について、全て電子化すればいいというものでもないなと感じている。紙の方が
伝わりやすく、紙でないとよくないものなど、必要に応じて紙とデジタルを使い分けする。
- (2) ア：時間外勤務について、年間360時間を月平均にすると月30時間、月20日勤務とすると1
日1.5時間の時間外となる。どうしていったら改善できるか検討中。子育てや介護など家庭の事情
のある教職員もいて、職場の人数の母数が少ないと難しい。毎週水曜日は定時退庁を呼びかけている
が、アドバイスを頂けるとうれしい。

【F委員】

今年の学校祭に中学生とその保護者が40人も来てくれていてうれしい。

【E委員】

実施回数よりも中身が大事というのはその通り。働き方改革を言われるが、対人関係の仕事は、何か起これば帰りが遅くなる。何でもかんでも時短ではない。生徒は日々変化する。

【D委員】

大変努力されている。就労時間については、協力できる場所はお互いに協力してほしい。人数が少ない職場で業務を回すのは大変だが、体に気をつけて。

【B委員】

「〇〇会社の常識は社会の非常識」とはよくある話だ。ビジネスマナーについては、職場実習中にアポなしで会社に巡回に来たり、実習最終日に評価表記入の依頼をしたりする学校があり、もしそれがその学校の全体的な風土となっているのであれば大変なこと。生徒にも良くない影響が出る。

時間外勤務については、今の世の中とはかなり乖離した水準であると認識してほしい。ニュースで教員が大変と言われると、なり手がどんどん減っていった教育界が成り立たなくなる。時間外勤務が必ずしも悪いわけではないが、今は原則ゼロがスタンダードであると毎年申しあげている。

【A委員】

大学の教育学部でも、1/3が教員で2/3が企業に就職していつている。やはり学生は教員を敬遠してしまうのか。学校現場から教員は楽しいよと伝えてあげてほしい。教員はある意味職人なので、ここでやめようというのが難しい。それをやめるとストレスがたまる教員もいるとは思いますが、できるだけ勤務時間は短くしてもらえたら。

研究授業週間については、実施後に初任者と新転任者のみで反省会をすると本音が出やすい。

評価で△のついた項目は、校長先生からの理論だった説明があり、最終評価の際も説明があればよい。良く伸びているところは、なぜ良く伸びているのか検証してほしい。

(8) 学校教育自己診断（生徒・保護者・教員）の実施について

【教頭より報告】

今、実施しているところである。保護者については、今年度はデジタル配信に変更した。今年度から導入したさくら連絡網を活用し、その連絡にGoogleフォームのリンクを載せて、より分かりやすいようにしてみた。今で7割くらいの回答率。生徒については、各学年毎に実施中。教員については、実施終了し100%の回答率。

(9) その他、質疑応答

特になし。

| 次回の会議日程 | |
|---------|---------------------------|
| 日時 | 令和7年1月31日（金） 14:30~16:30 |
| 会場 | 本校会議室および各教室（6時間目に授業見学を予定） |